

## 平成30年門真市教育委員会第5回定例会

開催日時 平成30年5月25日（金） 午後2時

開催場所 本館2階 大会議室

### 議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第13号 平成30年度教育費補正予算の見積り申出について
- 日程第4 議案第14号 門真市立公民館運営審議会委員の委嘱について
- 日程第5 議案第15号 平成31年度中学校使用教科用図書採択における調査員の任命について
- 日程第6 諸報告

### 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第6まで

### 出席委員

教育長	久木元 秀平
教育長職務代理者	長澤 信之
委員	桜井 智恵子
委員	土川 好子
委員	高橋 元

### 事務局出席職員

教育次長	森本 訓史
教育部長	満永 誠一
教育部次長	水野 知加子
教育部総括参事	寺西 照之
教育部教育総務課長	中野 康宏
教育部学校教育課長	三村 泰久
教育部学校教育課参事	高山 拓也
教育部学校教育課参事 兼教育センター長	峯松 大輔
教育部社会教育課長	牧菌 友広

教育部図書館長                      西中 敏美  
こども部保育幼稚園課長          花城 勉

関係課出席職員

企画財政部財政課長                西岡 慈敏  
まちづくり部地域整備課長        長光 俊幸  
まちづくり部地域整備課長補佐   浦 広幸  
こども部子育て支援課長          寺西 乾二

久木元教育長                      開会宣告      午後 2 時

日程第 1                              会議録署名委員の指名

久木元教育長より 高橋 元 委員を指名

日程第 2                              会期の決定

本日 1 日と決定

日程第 3                              議案第13号 平成30年度教育費補正予算の見積り申出について  
説明者 中野教育総務課長

歳入であります。

議案書 2 ページをご覧ください。

款：国庫支出金・項：国庫補助金・目：教育費国庫補助金1,576万4千円の減額は、門真の子どもの夢と希望プロジェクト及び子どもの安全・安心なまちづくりプロジェクトに係る地方創生推進交付金申請が不採択となったため、学校安全推進事業、「ようこそ門真へ」国際交流事業、めざせ世界へはばたけ事業の歳入分を減額することに伴い、計上しております。

[全委員異議なく、可決]

日程第 4

議案第14号 門真市立公民館運営審議会委員の委嘱について  
説明者 牧菌社会教育課長

議案書 3 ページから 5 ページをご覧ください。

本議案につきましては、門真市 PTA 協議会副会長鶴田明洋委員の退任に伴い、その後任として門真市 PTA 協議会副会長仲田英幸氏を社会教育法第30条第 1 項並びに門真市立公民館運営審議会条例第 2 条及び第 3 条の規定に基づき委嘱するものでございます。

なお、任期は前任者の残任期間とし、教育委員会の議決後から30年 7 月31日までとするものです。

[全委員異議なく、可決]

日程第 5

議案第15号 平成31年度中学校使用教科用図書採択における調査員の任命について  
説明者 峯松学校教育課参事

久木元教育長より、本件は、教科用図書が採択されるまで秘匿にする必要があるので、非公開にて審議したいとのこと、各委員に諮ったところ、全委員異議なく、了承、非公開にて審議された。

[教育長室へ移動 非公開]

出席者 教育長、全教育委員、森本教育次長、満永教育部長、  
中野教育総務課長、峯松学校教育課参事

時 間 午後 2 時 4 分から午後 2 時10分まで

[審議の結果 原案のとおり可決]

[議事録 省略]

[会議再開 大会議室]

諸報告

久木元教育長より、諸報告については報告をした後、質疑応答となる旨説明があった。

番号 1 平成31年度中学校使用教科用図書採択に係る日程について

説明者 峯松学校教育課参事

諸報告資料 1 ページをご覧ください。

本日、調査員の任命について議決をいただきましたので、5月29日調査員に説明会を行います。また、5月14日～5月25日まで、中学校に教科書見本の巡回展示を行っております。また、市民の皆様に対しましては6月15日から7月13日まで、門真市教育センター内教科書センターにおいて、教科書展示会を実施します。7月上旬、中旬には、教科書選定委員会を開き、教育委員会に対する選定委員会答申を完成させる予定でございます。

そして、7月26日の教育委員会にて平成31年度使用教科用図書をご採択いただき、8月上旬に大阪府教育委員会に採択の報告を行う予定でございます。

番号 2 平成30年度学校基本調査の結果について

説明者 高山学校教育課参事

30年度の5月1日時点の教員数、児童生徒数等に関する「学校基本統計」の結果について御報告申し上げます。

諸報告資料 2 ページです。小学校の基本統計のまとめになります。

児童数につきましては、29年度より237名減の5,189名になっております。学級数につきましては、29年度より5学級減少の236学級になっております。教職員定数は、総計で29年度より1減少し、371となっております。内訳につきましては、資料のとおりです。教員の平均年齢は、37.0歳でございます。

3 ページは教諭の年齢構成であります。50代の年齢層が少ない

状況となっております。なお、61歳以上の職員は、再任用教員です。

次に4ページは、中学校の基本統計のまとめであります。生徒数につきましては、29年度に比べ129名の減少となり、2,732名となっております。学級数につきましては、29年度より8学級減少の100学級となっております。教職員定数は、29年度より2減少し、総計で216となっております。内訳につきましては、資料のとおりです。教諭の平均年齢は、40.6歳となっております。

5ページは教諭の年齢構成であります。40代、50代が非常に少ない状況です。なお、61歳以上の職員は、再任用教員です。

6, 7ページは、各小・中学校、各幼稚園の教員数、児童・生徒数、園児数の一覧であります。

### 番号3 門真市生涯学習複合施設に係る報告について

説明者 牧菌社会教育課長、西岡財政課長、長光地域整備課長、  
寺西子育て支援課長

諸報告第3号の説明を行う前に久木元教育長より、下記のような報告がされた。

なお、前回の定例会において、委員よりご意見のあった検討期間の延長については、市長へ伝えました。8月の第8回定例会において、最終の教育委員会としての検討結果を取りまとめた後、市長へ意見をお返ししたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは改めて番号3門真市生涯学習複合施設に係る資料についてを報告願います。

はい、牧菌社会教育課長。

説明者 牧菌社会教育課長

諸報告第3号門真市生涯学習複合施設に係る報告について説明いたします。

まず、資料①の1, 2ページは、門真市生涯学習複合施設建設基本計画の概要版です。

これから本複合施設の再検討を進めるにあたって、まずは原案

の基本コンセプト、施設への導入機能、建築計画モデル等を確認していただきたく存じます。

次に、資料①の3ページ目の表をご覧ください。

前回の教育委員会定例会で生涯学習複合施設について、文化会館の代替施設として既存の施設で活用が可能か検討を進めていただきたいとのことでしたので、現在までの検討内容についてご報告いたします。文化会館が市の北部にありますので、可能な限り北部の既存施設を活用する検討を進めております。

まず、各施設の部屋ごとの29年度の利用率になります。主な諸室の利用率は、まず文化会館で利用率の高いのが、1階のホールで、61.6%、次いで第2会議室56.5%、第1会議室51.7%となっておりまして、逆に利用率の低い部屋が料理講習室6.8%、となっており、文化会館全体の利用率は37.9%となっております。

次に資料①の4ページ目の表をご覧ください。公民館ですが、利用率の高いのが、児童室で79.3%、次いで集会室69.3%、第2会議室65.6%で、利用率の低い部屋が料理教室9.6%、となっており、公民館全体の利用率は55.1%となっております。

次に資料①の5ページと6ページ目の表をご覧ください。市民文化会館・ルミエールホールで利用率の高いのが、リハーサル室が68.3%、次いで多目的室が56.8%、練習室2が51.5%、利用率の低い部屋が和室2の21.1%となっており、全体の利用率は38.5%となっております。

次に資料①の7ページ目の表をご覧ください。中塚荘で利用率の高いのが、和室1の55.0%、次いで研修室2の53.0%、利用率の低い部屋が交流サロン18.2%となっており、全体の利用率は39.4%となっております。

次に、資料①の8ページ目の表をご覧ください。この資料は、現在、生涯学習複合施設の機能に関する既存施設との連携・機能分散について検討を進めており、作業状況をイメージしていただくために、基本計画の中の関係個所を抜粋したものです。資料左側の表につきましては、基本計画29ページに掲載されております施設構成モデルです。資料1の概要版にも図示されている導入機能を表にし、部門ごとに目安となる延べ床面積が示されております。また、右側の上段の図は、基本計画34ページに記載されている建築計画モデルです。施設への導入機能が相互に連携するイメージを例示したもので、その下段の図は、導入機能と類似の機能を持

つ既存施設との連携により、機能分散するイメージを表したものです。

学習創造機能は複合施設に残るものと公民館・ルミエールホール・中塚荘へ分散するもの、子育て支援機能についても複合施設に残るものと保健福祉センターへ分散するものというように、既存施設への代替や諸室の集約が可能かどうかの検討を進めております。

今後、さらに検討を重ね、関係附属機関等の意見を踏まえつつ、8月まで随時検討状況を報告させていただきながら、委員の皆様のご意見を頂戴していきたいと思っております。

次に財政状況やまちづくりの状況など、本日は、それぞれの担当課が出席しておりますので財政状況については企画財政部財政課長、まちづくりの状況についてはまちづくり部地域整備課長、子育て支援機能についてはこども部子育て支援課長からご説明いただきます。

久木元教育長： 財政状況については、3月の総合教育会議で一定の説明があったところですが、改めて今後の状況等につきまして、説明を企画財政部財政課に説明をお願いします。

はい、西岡財政課長。

企画財政部財政課説明をお願いします。

説明者 西岡財政課長

企画財政部 財政課長の西岡でございます。

今後の本市の財政収支見通しについてであります。お手元の資料②の冊子「本市の財政状況（平成28年度決算状況等）及び財政健全化計画・中期財政見通しの進捗状況について」を用いてご説明させていただきます。

まず、本資料ですが、昨年8月下旬から9月初旬にかけて全職員に向けて説明をさせていただいたものでございます。すでに、29年度につきましては終了しておりますが、出納整理期間中のため、決算が確定しておりません。そのため平成28年度決算時点のものを用いて説明させていただきますので、その旨をご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、今後の市の財政収支見通しについてであります。  
資料19ページからをご覧ください。

まず、財政の収支の見通しであります。

グラフの見方についてであります。棒グラフが単年度収支でグラフの左に示しているメモリがその数値であります。また、折れ線グラフが実質収支で右に示しているメモリがその数値であり、いずれも百万円単位で記載をしております。

今の状態でいきますと、平成31年度までの当面の収支不足につきましては、ある程度の基金や未利用地の売却等の臨時的な収入で対応できるものと見込んでおりますが、基金は災害が起こった時の臨時的な措置等でも活用しなければならないため、一定残しておかなければならないものと考えております。それらを考慮いたしますと、平成32年度から実質収支が赤字となり、徐々に増え、平成38年度で29億700万円となる見込みでございます。財政健全化4指標の実質赤字比率が早期健全化基準にかなり近づくものと予想しております。また、単年度収支でも、平成32年度から赤字となり、平成34年度からは、毎年度5億強の赤字が続いていく見込みでございます。

次に20ページをご覧ください。

(2)今後の基金残高推移の見通しでございます。

ここでは、平成28年度現在の予算規模のままの基金残高の推移をグラフで表わしています。

まず、グラフの見方ですが、ひし形の折れ線グラフが財政調整基金、三角の折れ線グラフが特定目的基金、四角の折れ線グラフが減債基金となっております。単位は、億で表記しております。表を見ていただいたらわかりますとおり、減債基金は、2.1億円で推移しておりますが、特定目的基金については、平成28年度で40.4億円あるのが徐々に取崩しを行いまして、平成38年度では、26.7億円まで減少することがわかります。また、財政調整基金では、平成28年度で18億円あるのに対し、平成31年度で13.3億円まで減少いたしました後、財政調整基金の役割を加味いたしまして、平成38年度までは、徐々に回復する見込みであります。

次に21ページから23ページにつきましては、先ほどご説明いたしました財政収支の見通しの内訳となっておりますので、説明を割愛させていただきます。

次に24ページをご覧ください。

今後の財政健全化4指標の推移であります。

グラフの見方ではありますが、ひし形が実質赤字比率、四角が連結実質赤字比率、三角が実質公債比率、四角の中に×とあるのが将来負担比率でございます。

まず、実質赤字比率ではありますが、これまでは黒字であったので、比率については出てきておりませんが、平成32年度を皮切りに平成38年度では9.9%となる見込みでございます。早期健全化基準が11.96%であるので、このままでは、10年後にはその手前に到達する見込みでございます。

次に、連結実質赤字比率ではありますが、国民健康保険の赤字は早ければ平成32年度で解消されるものの、普通会計が赤字となるため、平成37年度からこの比率が出てくる見込みであります。

次に、実質公債費比率ではありますが、起債の償還の終了や利率の低下からほぼ横ばいで推移する見込みでございます。

次に、将来負担比率ではありますが、現在59.6%でございますが、基金の取り崩し等の要因により平成38年度には73.6%に増加する見込みでございます。

以上が本市の今後の財政収支見通しでございます。

冒頭でご説明いたしましたように、平成28年度決算時点のものでございますので、社会情勢等によりまして、毎年変動いたしますので、その点につきましては悪しからずご了承いただきますようお願い申し上げます。

また、この極めて厳しい財政状況を打開するため、平成30年度から「さらなる歳出抑制と歳入確保の徹底」、「事業の再編と財源の最適化」、「効率的・効果的な行政運営の追求」を行なうため、企画課に行財政改善グループを設置したこと。また健全な財政を行なうためのルールを作るための条例の策定への着手などをしているところでございますので、ここまでの状態にはならないとは考えているものの、厳しい財政状況は当面の間続くものと予測しております。

以上、誠に簡単ではございますが、今後の本市の財政収支見通しについての説明とさせていただきます。

久木元教育長： ありがとうございます。次に、本市のまちづくりの状況について、まちづくり部地域整備課、説明をお願いします。

はい。長光地域整備課長。

説明者 長光地域整備課長

まちづくり部地域整備課長の長光でございます。

私から本市のまちづくりの状況につきまして、ご説明申し上げます。

資料③を、ご覧ください。

住宅市街地整備計画書の門真市北部地区における整備地区計画図でございます。

青枠で囲んだ区域は、「地震時等に著しく危険な密集市街地」であり、この区域内で、面整備や主要生活道路の整備を進めているとともに、「除却補助制度」により、まちの不燃化に取り組んでおります。

また、泉町松葉町北地区では、生涯学習複合施設基本計画策定後、新たに旧北小学校跡地などを活かしたまちづくりに取り組んでいるところです。

資料③の2ページ目を、ご覧ください。大阪府のホームページの写しでございます。

大阪府において、大阪モノレールを延伸計画が進められています。

平成41年度に完成予定の京阪本線門真市駅から近鉄奈良線（仮称）瓜生堂駅までの延伸計画に合わせて、門真南駅前周辺のまちづくりについて、地元の方々と勉強会等を行っているところです。

資料③の3ページ目を、ご覧ください。

新聞報道にありますとおり、松生町のパナソニックの工場用地については、民間事業者が再開発して大型商業施設を建設する方針と見込まれております。

このような市内各地区の動きは、「門真市幸福町・中町まちづくり基本計画」において、「賑わい交流ゾーン」をめざす幸福町・垣内町地区のまちづくりに影響を与えるものと考え、現在、生涯学習複合施設を除く一中跡地の市有地について、企業アンケートやヒアリングにより土地利用計画の検討を進めているところでございます。

説明は以上でございます。

久木元教育長： ありがとうございます。次に、保健福祉センターでの子育て支援機能について、子ども部子育て支援課説明をお願いします。

説明者 寺西子育て支援課長

こども部子育て支援課長の寺西でございます。

私から子育て支援機能につきまして、ご説明申し上げます。

資料④を、ご覧ください。

乳幼児とその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談や情報提供など育児負担などを軽減することを目的に地域子育て支援拠点事業として、平成19年度から市民プラザ内に直営でなかよし広場を、地域子育て支援センターは運営を北島町の幼保連携型認定こども園智鳥保育園に委託で平成11年度から実施しているところですが、北部地域にも拠点施設が必要であると考えていたことから生涯学習複合施設建設基本計画に盛り込んでいただきました。

そうした中、保健福祉部と保健福祉センター内での子育て支援拠点のためのスペース利用について協議・検討した結果、今回、保健福祉センター内に「地域子育て支援センター」を移転し、利用者支援事業（基本型）を実施することで、健康増進課が実施する利用者支援事業（母子保健型）と緊密に連携し必要な情報を共有することによって、切れ目のない子育て支援（＝子育て世代包括支援センター）の実施が可能となります。また、子育て支援課と健康増進課との間で事業の整理が出来ることや、南部地域に偏っている地域子育て支援拠点をかねてより要望のありました北部地域も充実が図られることとなります。

そうしたことから、複合施設内への地域子育て支援拠点事業として実施する施設については必要がなくなります。

事業実施のスケジュールといたしましては、29年度に事業計画が採択され、30年3月に予算を議決いただきました。今後といたしましては、5月末ころから実施設計、仕様を確定し、秋には運営委託事業者を決定、その後施設改修等を行い、31年4月に開設予定と致しています。

—すべての報告が終了—

長澤教育長職務代理者： まずは、生涯学習複合施設の建設に関わりまして、市長部局の方から3課の課長さん、わざわざ教育委員会会議に出ていただきまして、丁寧な説明をしていただきまして、ありがとうございます。

した。厚くお礼申し上げます。また、先月の教育委員会会議で見直しの時期につきまして、市長から6月を目処にというお話がございましたけれども、教育長を通じまして、市長にもう少しゆとりが欲しいと要望をいたしましたところ、快くといいますか、若干の余裕をもった日程を組んでいただきまして、改めて市長並びに教育長にお礼申し上げます。ありがとうございました。

質問等は2つあります。1つは今、社会教育課長から公民館、ルミエールホール、中塚荘などの利用状況の説明を丁寧にしていただいた訳でございますが、それを基にして、今後、既存施設への代替えや集約を検討していかねばならないと思っておりますが、そのあたりにつきまして、それ以外の社会教育施設の活用についてもどのようなお考えなのか、お考えがありましたら、教えていただきたいというのが1点。

もう1点は、どなたに質問していいのか分からないのですが、知人から情報が入りまして、生涯学習施設、例えば図書館だけで補助金を取るのは難しいと。複合施設であれば、補助金を取りやすいのではないのかというような情報を得ましたので、そのあたり、もしご存じであればお答えいただきたいと。情報がなければ、そのあたり調べていただけたらと思いますので、よろしく願います。

久木元教育長： それで1点目でございますけれども、はい、牧菌社会教育課長お願いいたします。

牧菌社会教育課長： 社会施設の活用の考え方ですが、現在、文化会館は中町、図書館は新橋町に所在しておりますことから、それぞれの施設利用者の利便性を考慮し、まずは距離の近い、類似機能を持った既存施設の活用可能性について、検討を進めておりますが、利用者が自ら選び活用していただくことが望ましいと考えております。

また、先ほどの補助金についてですが、都市再生整備計画事業での交付対象条件に他施設との合築が必須となっていることから複合施設でなければ、交付金の対象にならないものでございます。

長澤教育長職務代理者： 先々のことを考えたら、もしかしたら図書館だけに絞るということになってくるかもしれないわけですね。そうなってくると補助金が取りにくいということですので、複合施設主体に考えてい

かないといけないのかなと思っています。

久木元教育長： はい、ありがとうございます。他にございませんか。はい土川委員。

土川委員： ただ今のご説明で、厳しい財政状況が今後数年間は続くことがよく分かりました。今ご説明を受けた財政収支の見通しには、生涯学習複合施設の建設等は含まれているのでしょうか。

西岡教育総務課長： 先ほどのご説明いたしました財政収支の見通しにつきましては、生涯学習複合施設の設計から建設までの費用は含まれております。ただし、施設建設後のランニングコストにつきましては、施設の内容等が不明確のため含んでおりません。

他の同規模の施設の規模から予測をいたしますと約3億円程度と想定されますことから、先ほどの財政収支見通しに上乗せをして考えていただけたらと思います。

久木元教育長： ありがとうございます。他にございませんか。はい、高橋委員。

高橋委員： 市内の色々な地域でまちづくりが行われていることがわかりました。これらのまちづくりが生涯学習複合施設にどのように影響すると捉えればよいのでしょうか。

久木元教育長： はい、長光地域整備課長。

長光地域整備課長： 先ほど、ご説明させていただきましたとおり、市内各地区での最近の動向は、「門真市幸福町・中町まちづくり基本計画」において、「賑わい交流ゾーン」をめざす幸福町・垣内町地区のまちづくりに影響を与えるものと認識しております。

そのため、生涯学習複合施設用地を除く一中跡地の市有地につきまして、企業アンケートやヒアリングを行いまして土地利用計画の検討を進めているところでございますが、説明させていただいたまちづくりが生涯学習複合施設を地区内に建設することに関して、現時点で直接的に影響を与えるものではないものと考えております。

久木元教育長： ありがとうございます。他にございませんか。  
はい、桜井委員。

桜井委員： 地域子育て支援センターのところですか。もう南部にはあったのだけれども、北部にはなかったもので、生涯学習複合施設にそもそも盛り込まれていたとのことでしたが、複合施設よりも保健福祉センターに子育て支援センターを開設するということになって、そのメリットと、そのことによって複合施設での子育て支援機能がなくなるのかについて、教えていただきたいと思います。そもそもの生涯学習複合施設建設基本計画では多世代交流を生み出す人づくり支援ということで、子どもや赤ちゃんや高齢者や色々な方々がそこに集うというはずで、それは最近の全国的な潮流であったと思うのですが、またまた子どもは別のところということになってしまわないかと心配しています。

久木元教育長： はい、寺西子育て支援課長。

寺西子育て支援課長： 地域子育て支援センターを保健福祉センターへ移転するメリットにつきましては、保健福祉センターにおいて、1歳半、2歳半、3歳半などの健診をしており、未就学児が多く集まること、また29年度から健康増進課が「産後サポート事業」「利用者支援事業(母子保健型)」を「妊婦・出産包括支援事業」として開始しており、地域子育て支援センターで実施予定の「利用者支援事業(基本型)」と合わせ、ワンストップでの対応が可能となります。

また、生涯学習複合施設での子育て支援機能につきましては、地域子育て支援拠点事業として実施する施設はなくなりますが、赤ちゃんの駅としてご利用いただく授乳室等の機能は残るものでございます。以上でございます。

桜井委員： ということはなくなるということなのかと思うのですが。授乳室だけが残るということで、残念だなと思うのですが、複合施設の計画が進んでいる中で、地域子育て支援センターの計画も並行して進んでいたのですか。そのあたりがよく見えないのですが。一緒にやるはずだったのにこちらが立ち上がってきたのですか。

久木元教育長： はい、牧菌社会教育課長。

牧菌社会教育課長： 複合施設の建設基本計画自体は平成25年に策定されましたので、その当時、その中に子育て支援を盛り込んでいたのですが、当初の開設予定を28年度と見込んでいたのですが、事業の進捗がスケジュール通りにいかなかったため、その間に子育て支援機能について、別の保健福祉センターでできるということが、昨年度から進んできたというところで、並行してという形にはなっていなかったのかと思います。

桜井委員： 分かりました。最初は計画があったけれどもそれが滞ったので、これは困ったなということで、計画を子育て支援で進められたということですね。少し残念な気がします。

長澤教育長職務代理者： 私達は唐突に保健福祉センターの話を知ったので、はっきり言ってびっくりしています。良いとか悪いとかの話ではなくて、そのあたり本当に調整がとれていたのかどうか。2課の間、教育委員会も含めて。はっきり言って疑問に思っています。

寺西子育て支援課長： 少し法的なお話になってしまうのですが、子育て世代包括支援センターにつきましては、少子化対策の大綱によりまして、32年度末までに地域の実情を見ながら全国展開をめざすとともに包括支援センターの設置促進を目的として、29年度から健康増進課が母子保健型を実施しているというところと児童福祉法を一部改正する法律によりまして、市町村に設置の努力義務がなされたということで、29年4月1日の施行ですが、それらを踏まえまして、検討してまいった結果ということでございます。

長澤教育長職務代理者： 情報は入っていました。努力義務になったというのは入っていたのですが、個人的に入っただけで、公的な話は一切なかったということです。

桜井委員： 努力義務で慌てられたのかもしれませんが、じっくり全体の市のことを、子どもと高齢者の交流の場のことも考えていただくとよいのではないかなと個人的には思います。

久木元教育長： 他に質問はございませんか。

無いようでございますので、今後、本日の質疑等も踏まえながら、事務局で引き続き検討を行っていただきまして、次回の教育委員会会議で報告していただきますようによろしく申し上げます。

久木元教育長                      閉会宣言                      午後 2 時45分

門真市教育委員会会議規則第24条の規定により署名する。

門真市教育委員会

教 育 長                      久木元 秀平

署名委員                      高橋 元